「平成 23 年度　伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版

平成 24 年 2 月

伊勢湾再生推進会議

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と、流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様が、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾の再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

図 1 伊勢湾流域圏

注）伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。
（上の図の水色および緑色で示した部分）

伊勢湾再生推進会議
・伊勢再生推進会議構成団体
国土交通省・海上保安庁・内閣府内閣官房地域活性化統合事務局
農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・環境省・岐阜県
愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2.「平成 23 年度　伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1　モニタリング期間

平成 23 年 7 月 27 日（水）～8 月 10 日（水）

2.2　モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

① 分析による水質調査　（調査結果 p.7～15）
② 簡易水質テスト　（調査結果 p.16～45）
③ 水生生物調査　（調査結果 p.46）

2.3　モニタリング参加者

今年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

◆ 分析による水質調査

[行政機関]

第四管区海上保安本部（第四管区海上保安本部、海洋情報部）、愛知県（愛知県下水道課、愛知県環境部、名古屋市、豊田市、豊橋市、岡崎市、春日井市、一宮市）、三重県（三重県、桑名市、東員町、朝日町、多気町、亀山市、津市、松阪市、明和町、志摩市、大台町、伊勢市、鳥羽市、玉城町、四日市港管理組合）、岐阜県（岐阜県、岐阜市、大垣市、多治見市、中津川市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、大野町、七宗町、御嵩町）、宮川流域ルネッサンス協議会

[市民団体･NPO 法人･個人]

ゲンゴロウ会、NPO 法人糸貫川をきれいにする会、環境ネット 四つ葉会、四日市市環境学習センター（内部地区市民センター）

[企業]

三井共同建設コンサルタント株式会社

◆ **簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査**

[行政機関]

岐阜県郡上市、第四管区海上保安本部、中部地方整備局（海洋環境・技術課、三河港湾事務所）

[大学･研究機関]

豊橋技術科学大学

[市民団体･NPO 法人･個人]

ぐるーぷ「かすみ草」、松並木つくり隊、鯱城・堀川と生活を考える会、NPO 法人藤前干潟を守る会、扇川を愛する緑の会、NPO 法人伊勢湾フォーラム、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、NPO 法人グラウンドワーク東海、やなぎも会（旧高年大学 OB 水質調査グループ)、引山学区連絡協議会、高年エンバイロ 21、山崎川グリーンマップ、瑞穂鯱城クラブ（旧伏見 22)、大井まちづくり協議会スナメリの海事業、みどりのまちづくりグループ、明治用水土地改良区、渡し場かもめ会、豊川流域圏を学ぶグループ、小野氏（個人)、NPO 法人長良川環境レンジャー協会、大垣市生活学校、尾石氏（個人)、可児市めだかの楽校、小里川ダム里山教室、八尺川を守る西洞子供会、NPO 法人阿漕浦友の会、四日市ウミガメ保存会、四日市市環境学習センター（四郷地区市民センター)、高松干潟を守ろう会、地球クラブ、雲出川フロンテー、NPO 法人神社みなとまち再生グループ、亀山の自然環境を愛する会、根本愛郷会、NPO 法人木曽三川ごみの会

[企業]

東洋建設株式会社名古屋支店、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、小塩通信株式会社、フェザー安全剃刀株式会社関工場、富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会、横浜ゴム株式会社三重工場

[学校]

桑名市立光陵中学校、多気町立勢和中学校、桑名市立伊曽島小学校高学年

2.4　水質調査地点

現在報告いただいているモニタリング調査地点数は、昨年度よりも少ないものの、一昨年と同程度の地点において実施していただきました。

表 2　一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106

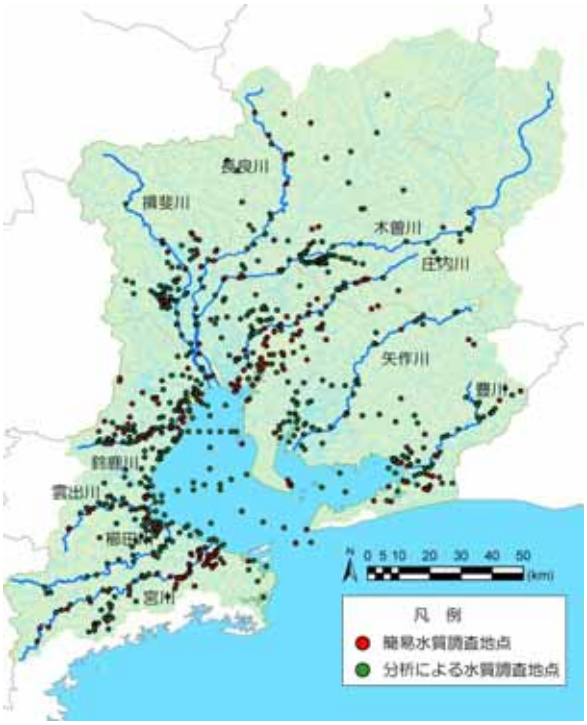


図 2　平成 22 年度の一斉モニタリング地点

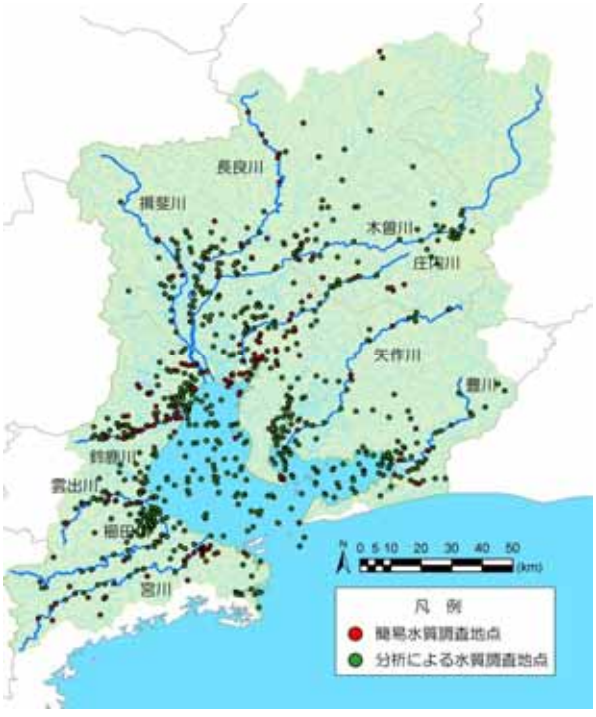


図 3　平成 23 年度の一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で高さを変えて測っているところもあります。

2.5　モニタリング実施時の気象･海象状況

一斉モニタリング期間（7/27～8/10）及び前後の気象状況を示しています。

一斉モニタリングの１週間前にまとまった雨が降りましたが、モニタリング期間中の降水量は少なく、気温や風速の大きな変化もなかったことがわかります。

日照時間は、モニタリング期間の前半はやや短かったことから、曇空の日が多かったと考えられます。後半は日照時間が長く、晴天が続いていたと考えられます。

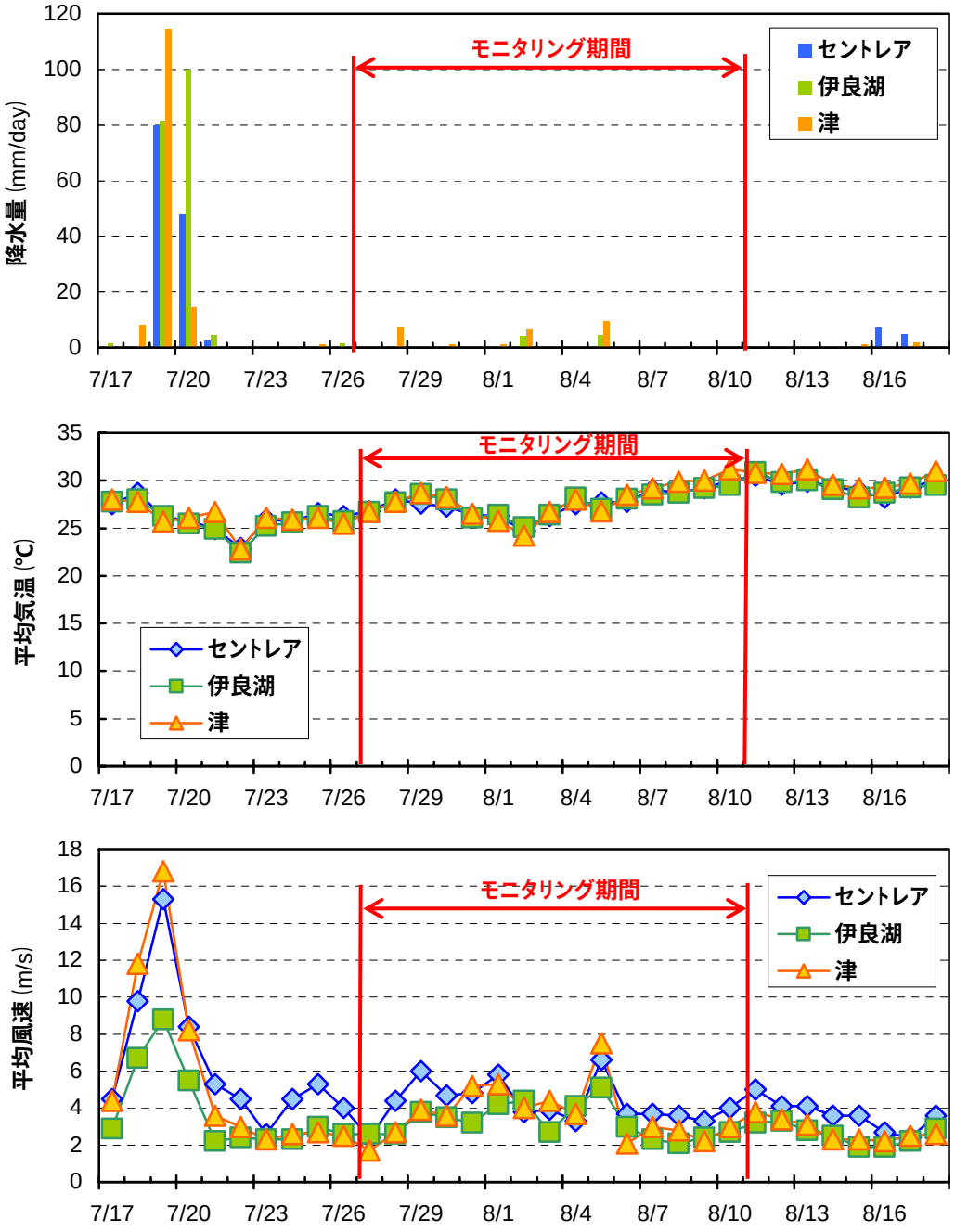


図 4　一斉モニタリング時の気象･海象状況①（降水量･気温･平均風速）

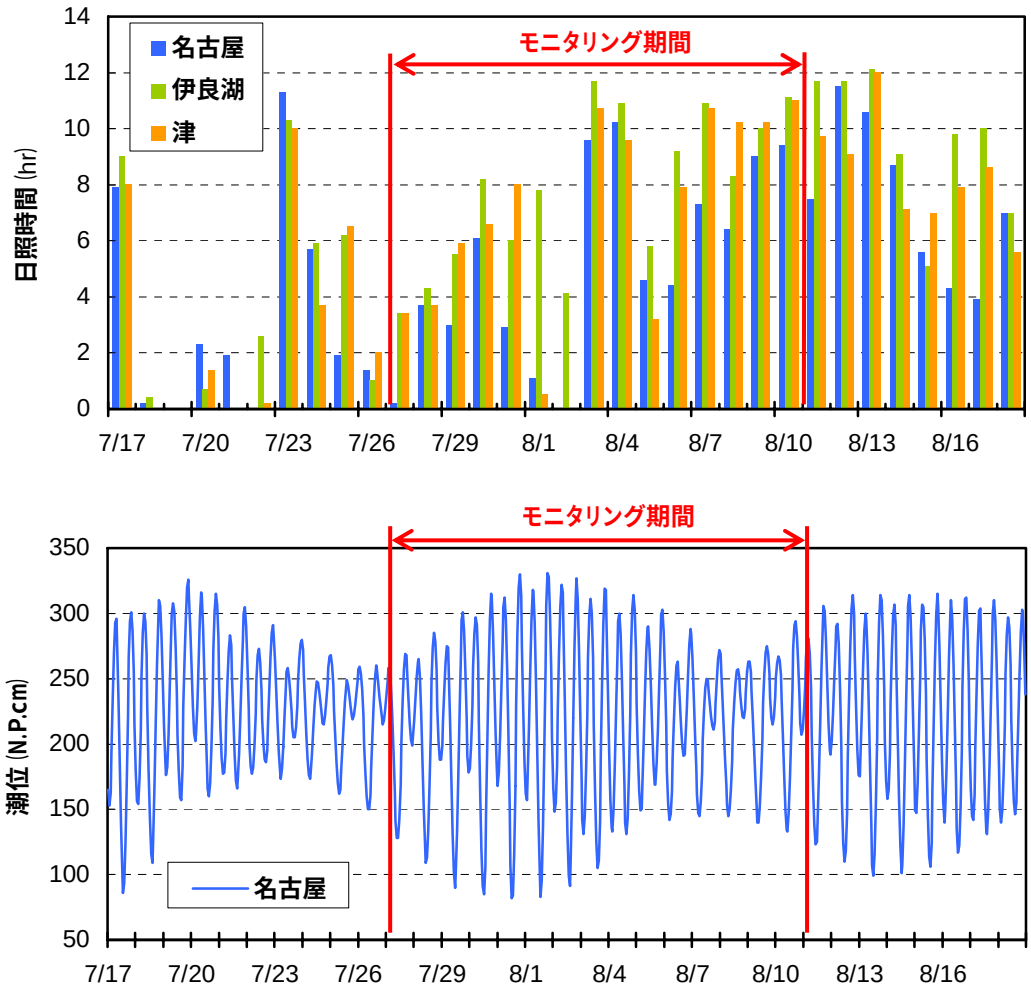


図 5 一斉モニタリング時の気象･海象状況② (日照時間･潮位)

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の 8 項目を示します。

① BOD（生物的酸素要求量）
② COD（化学的酸素要求量）
③ pH
④ 全窒素
⑤ 全リン
⑥ DO（溶存酸素）
⑦ SS（浮遊物質）
⑧ 大腸菌群数

＜水質指標が示すもの＞

① BOD	有機物による水の汚れを示します。有機物を微生物が食べてきれいにするために消費される酸素量のことです。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD	有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。
③ pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。水中の水素イオン濃度のことです。pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④ 全窒素	水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物における窒素の量を示します。窒素はリンと並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。
⑤ 全リン	水中に存在するいろいろな形態のリン化合物におけるリンの量を示します。リンとは窒素と並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。
⑥ DO（溶存酸素）	水中に溶解している分子状酸素量を示します。水中の酸素量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の魚界類や好気性微生物などの呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦ SS（浮遊物質）	水中に浮遊している物質の量を示します。一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量を測ります。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧ 大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿汚染の指標として使われています。

BOD（生物的酸素要求量）

有機物による水の汚れを示します。有機物を微生物が食べてきれいにするために消費される酸素量のことです。汚れるにつれて値が大きくなります。

図 6　BOD（分析による水質調査結果）

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっており有機物による汚れは少ないですが、中下流の市街地に入ると有機物による汚れが増えてきています。

COD（化学的酸素要求量）

有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。

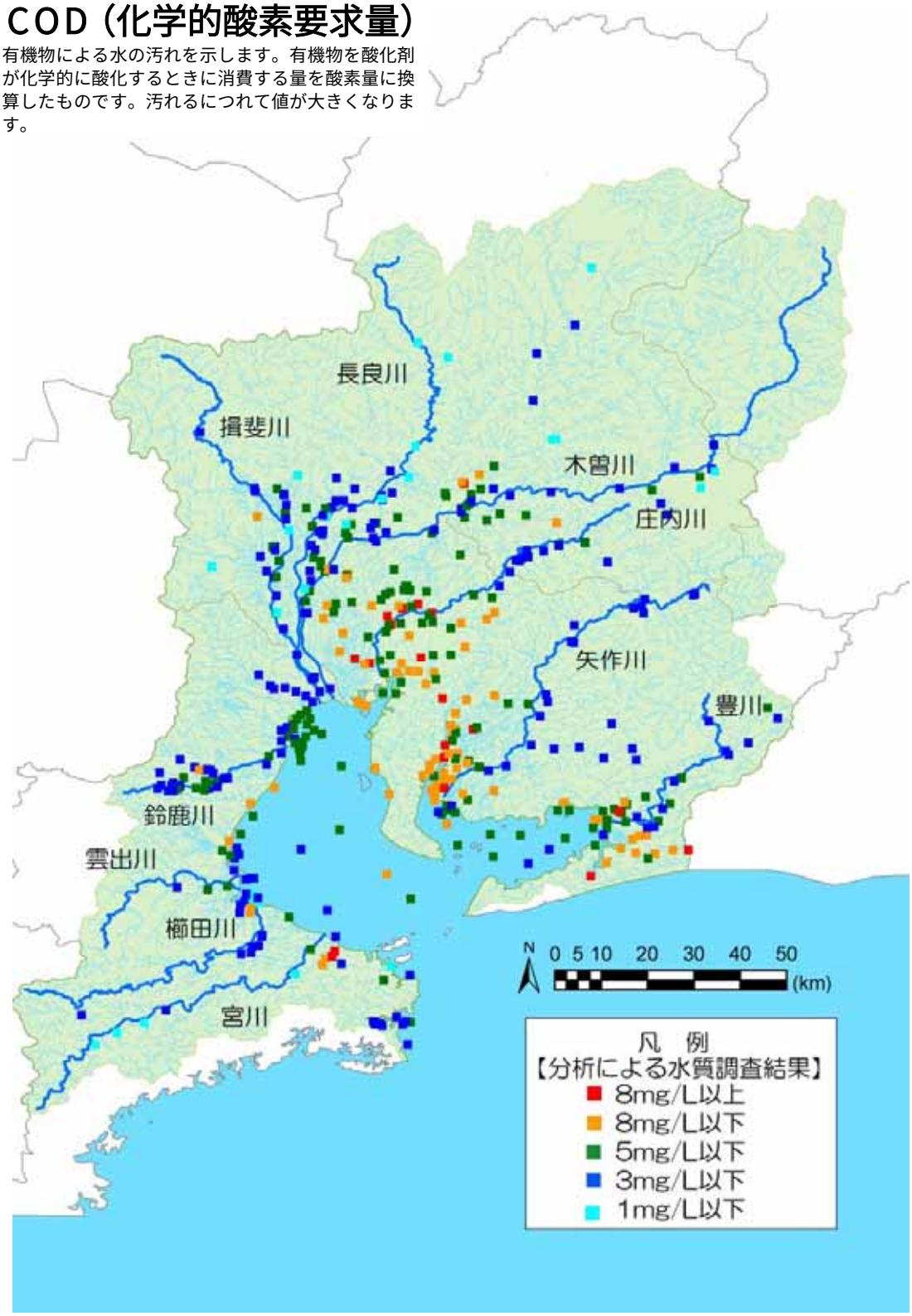


図 7　COD（分析による水質調査結果）

BOD と同様、各河川の中下流で値が大きくなっており、河川の中下流部では有機物による汚れが大きいことがわかります。海に出た後は希釈や自浄効果などで値は小さくなりますが、三河湾や伊勢湾の上側では 5mg/L 以上の高い値を観測しており、有機物量が高いままとなっています。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。水中の水素イオン濃度のことです。
ｐH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

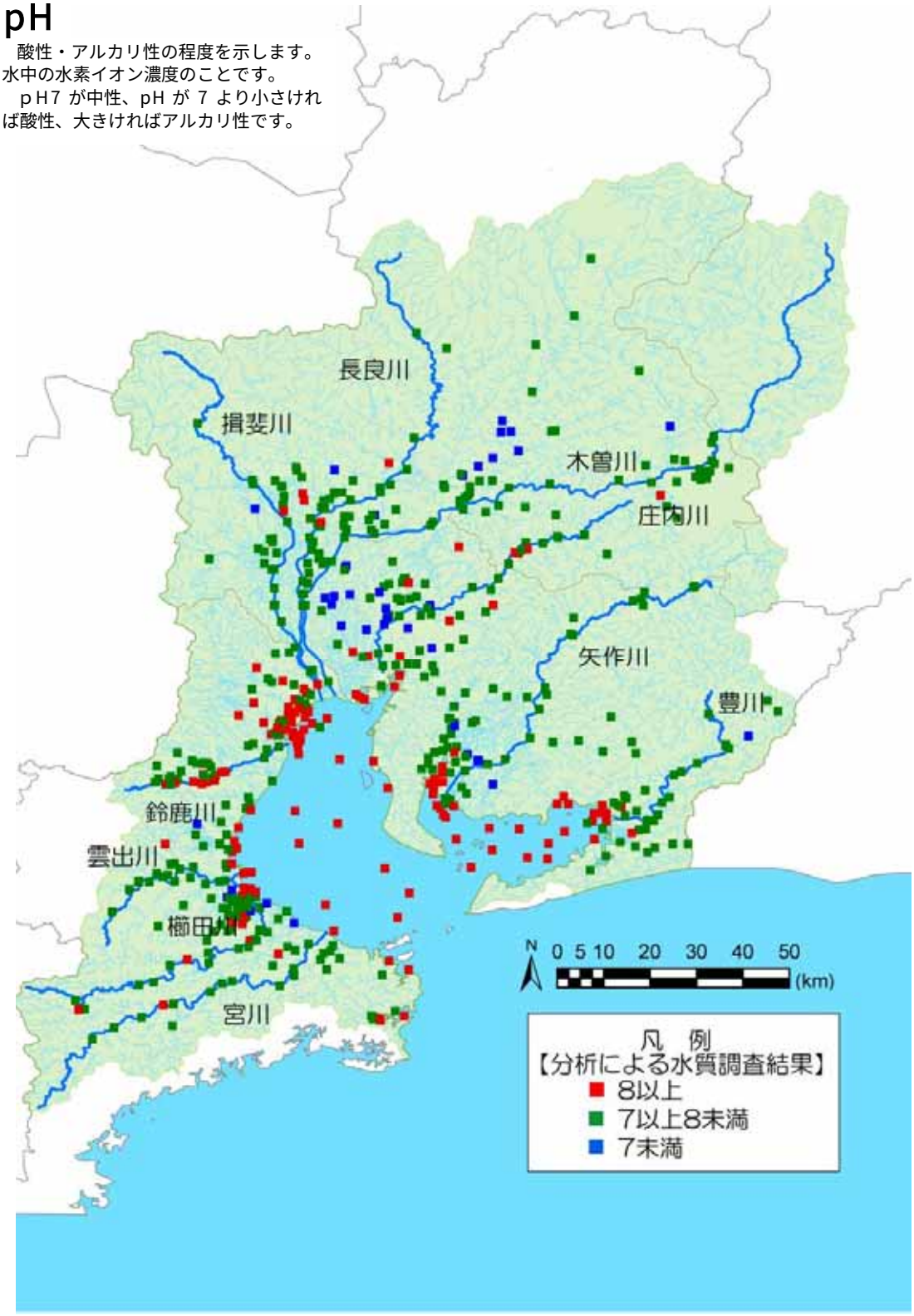


図 8　pH（分析による水質調査結果）

河川の pH は一般的に pH7 付近の中性で、河川の観測値の多くが pH7 付近となっています。河川の一部の地点では pH8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に pH8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は pH8 以上となっています。

全窒素

水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物における窒素の量を示します。窒素はリンと並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。

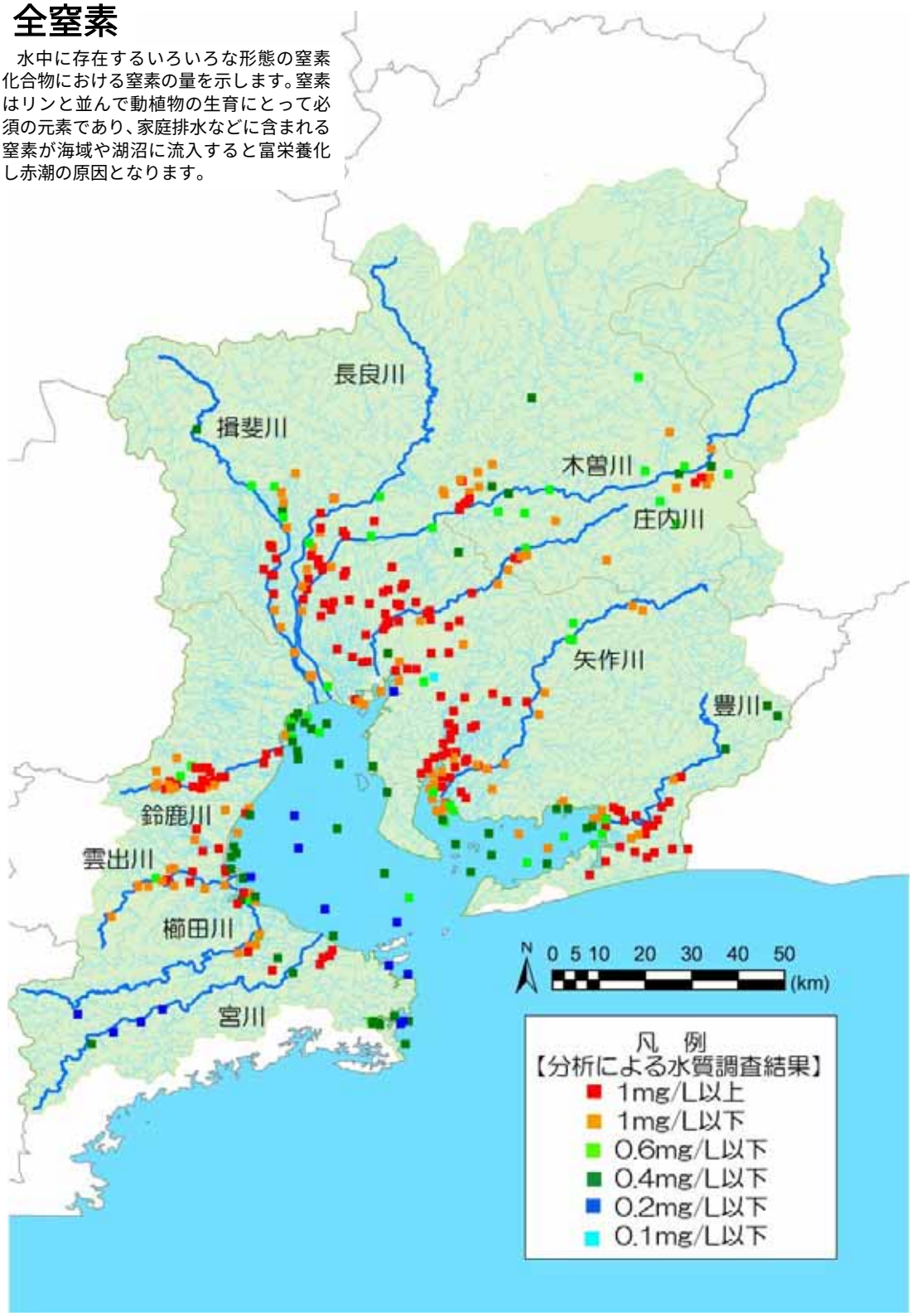


図 9　全窒素（分析による水質調査結果）

各河川の中下流で高くなっており、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。河川の河口部や海では低くなっていますが、三河湾奥では観測値が高い傾向にあります。

全リン

水中に存在するいろいろな形態のリン化合物におけるリンの量を示します。リンとは窒素と並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。

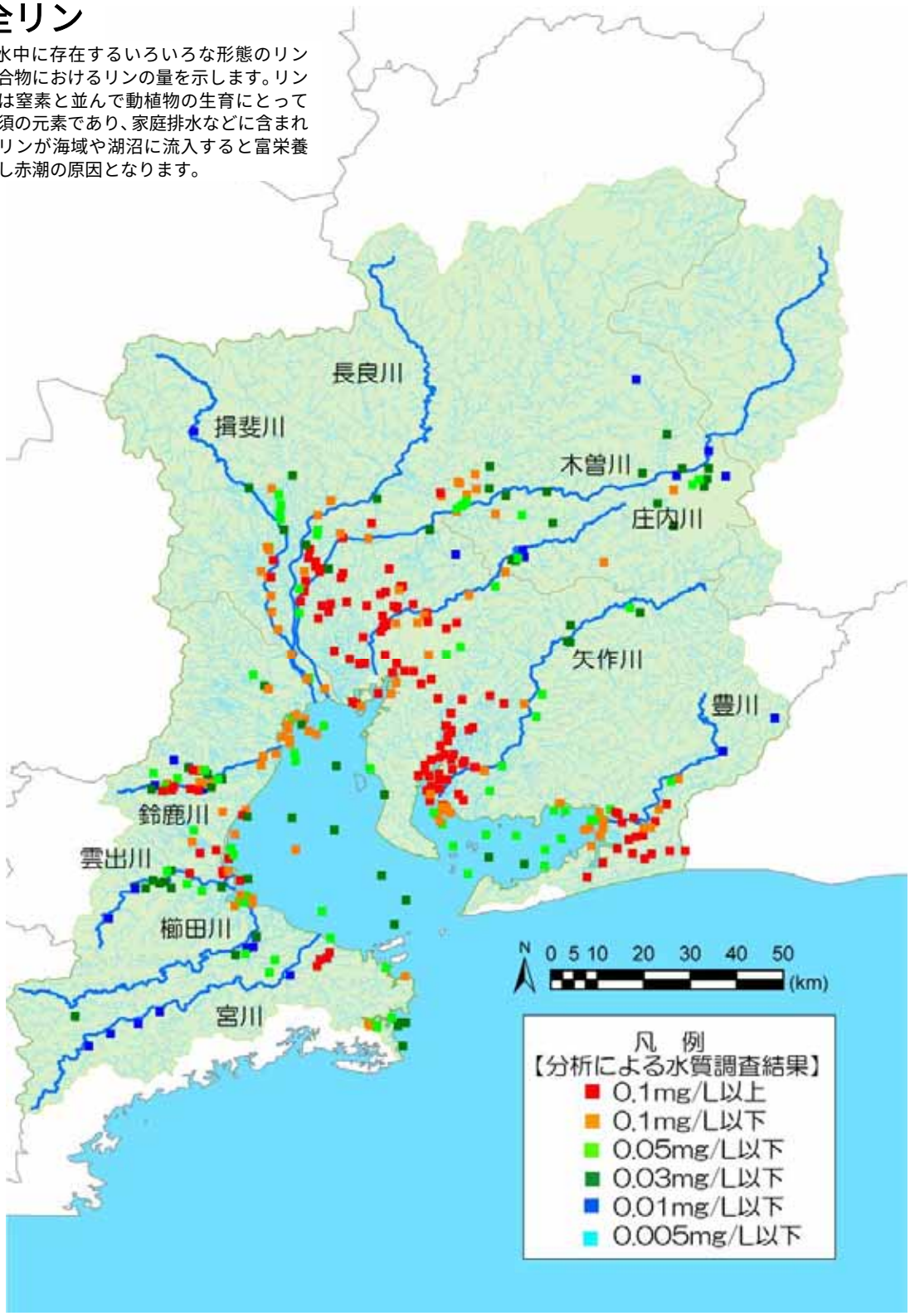


図 10　全リン（分析による水質調査結果）

全窒素と同様に、各河川の中下流で高くなっており、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。河川の河口部や海では低くなっていますが、三河湾奥では観測値が高い傾向にあります。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している分子状酸素量を示します。水中の酸素量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の魚界類や好気性微生物などの呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

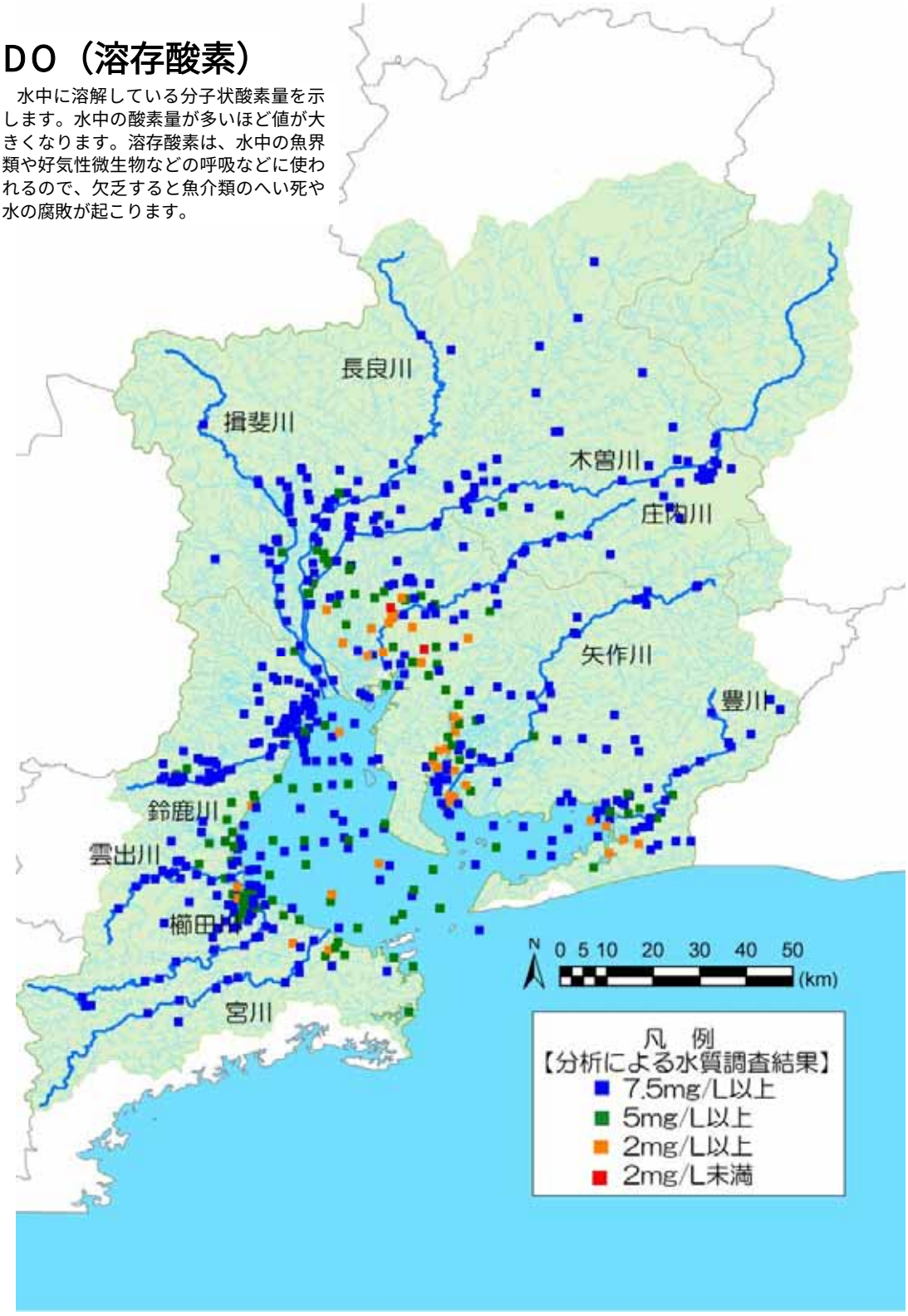


図 11　DO（分析による水質調査結果）

大河川（太い青線）では比較的 DO（溶存酸素）は多いですが、中小河川（細い青線）では DO(溶存酸素)が少ない箇所が見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の DO 分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

ＳＳ（浮遊物質）

水中に浮遊している物質の量を示します。一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量を測ります。汚れるにつれて値が大きくなります。

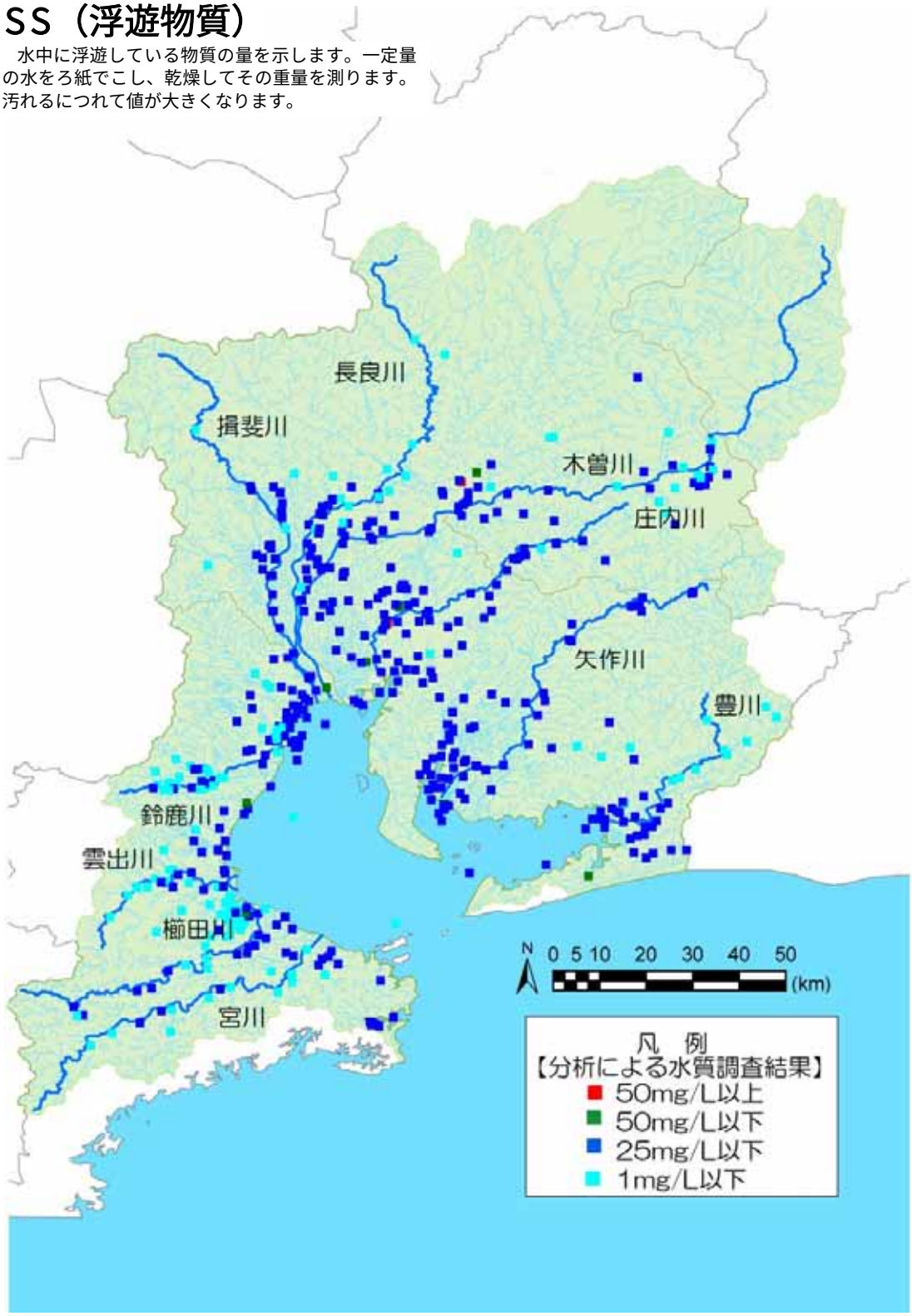


図 12　SS（分析による水質調査結果）

多くの観測地点は、25mg/L 以下となっており、SS(浮遊物質)による水の濁りは問題ないといえます。

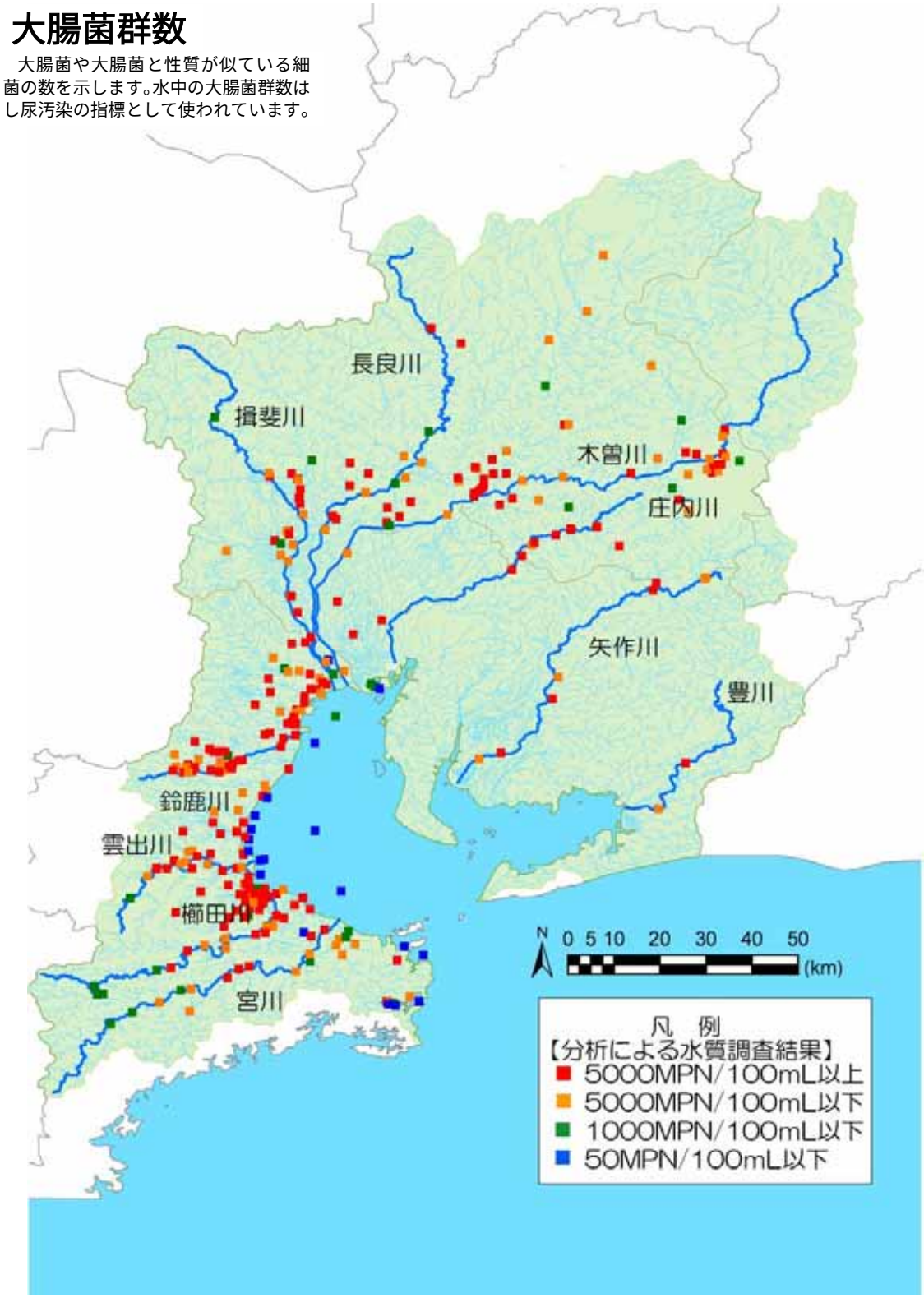


図 13　大腸菌群数（分析による水質調査結果）

多くの観測地点で、1000MPN/100m l 以上の高い値を観測していますが、大腸菌群数は、し尿等による人為的由来によるものと、自然の土壌由来のものがあるため、一概に水が汚れているとは言えません。

3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、様々な項目で調査していただきました。

＜モニタリング調査項目＞
水温、COD（化学的酸素要求量）、NH_4（アンモニウム態窒素）、NO_2（亜硝酸態窒素）、NO_3（硝酸態窒素）、PO_4（リン酸態リン）、天気、モニタリング地点の状況（ゴミの状況等）、生き物、水のにおい、水の色、水量（量、速さ）

その中で、調査した数が多く、伊勢湾の水質を示す、以下の 5 項目の結果を示しました。

① COD（化学的酸素要求量）
② NH_4（アンモニウム態窒素）
③ NO_2（亜硝酸態窒素）
④ NO_3（硝酸態窒素）
⑤ PO_4（リン酸態リン）

＜水質指標が示すもの＞

① COD	有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れた水になるほど値が大きくなります。
② NH_4	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 NH_4 が高い場合、すぐ近くで生活排水や工場用水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。
③ NO_2	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 NO_2 は NH_4 が NO_3 に酸化される際の中間生成物で、不安定な物質であるため、通常蓄積されることはありません。しかし、pH 等の影響や窒素肥料の施肥量が多いと NO_2 が集積することがあります。
④ NO_3	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 きれいな水は NO_3 の割合が高く、汚れた水は NH_4 の割合が高くなります。しかし、NO_3 が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では 10mg/L 以下と設定されています。
⑤ PO_4	リン酸態リンは植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、富栄養化の原因となります。リン酸が増加すると、植物プランクトンや藻類が異常発生し、環境に悪影響を与えます。

COD（化学的酸素要求量）

有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。

図 14　COD（簡易水質テスト結果）

中小河川や支川の末端で観測値が高くなっており、有機物による汚れが大きくなっています。これは、中小河川や支川は、大河川に比べて水の量が少ないところへ生活排水が流入しているためと考えられます。

NH_4（アンモニウム態窒素）

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

NH_4 が高い場合、すぐ近くで生活排水や工場用水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。

図 15　NH_4（簡易水質テスト結果）

市街地の都市河川で高い値を示しています。0.5mg/L 以上になると、生物の生息環境としては良好とはいえない、とされています。

NO_2（亜硝酸態窒素）

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

NO_2-N は NH_4 が NO_3 に酸化される際の中間生成物で、不安定な物質であるため、通常蓄積されることはありません。しかし、pH 等の影響や窒素肥料の施肥量が多いと NO_2 が集積することがあります。

図 16　NO_2（簡易水質テスト結果）

NO_2(亜硝酸態窒素)は、NH_4（アンモニウム態窒素）が、NO_3(硝酸態窒素)へと変化する際の中間生成物で、比較的不安定な物質です。観測地点の多くでは、0.007～0.05mg/L の値を示しています。

NO_3（硝酸態窒素）

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

きれいな水は NO_3 の割合が高く、汚れた水は NH_4-N の割合が高くなります。しかし、NO_3 が多量に存在すると人に影響を与えるため、水道水の水質基準では 10mg/L 以下と設定されています。

図 17　NO_3（簡易水質テスト結果）

河川の中流で高い地点がみられることから、家庭下水のほかに、畜産や化学肥料によって高くなっていると考えられます。水道水の水質基準は満たしていますが、伊勢湾に流出すると富栄養化（プランクトンの異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

PO_4（リン酸態リン）

リン酸態リンは植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、富栄養化の原因となります。リン酸態リンが増加すると、植物プランクトンや藻類が異常発生し環境に悪影響を与えます。

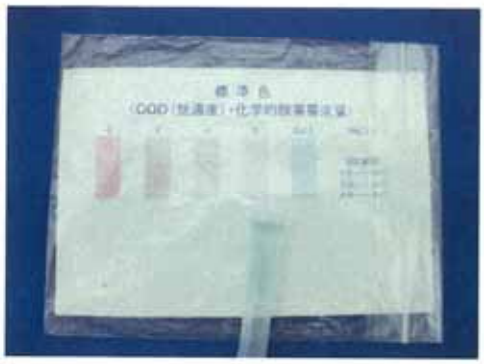
図 18　PO_4（簡易水質テスト結果）

調査地点の多くで高い値が観測されており、生活排水の影響や田畑からの肥料の影響が考えられます。伊勢湾に流出すると富栄養化（プランクトンの異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

【団体名：扇川を愛する緑の会（1/3)】

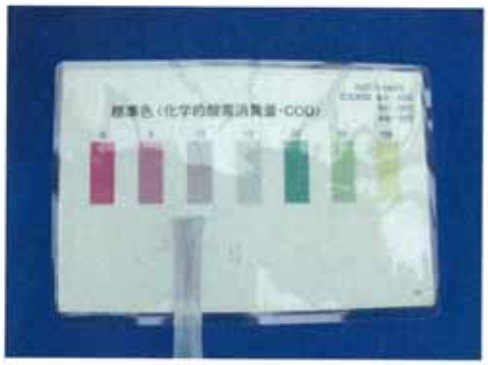
伊勢湾流域圏一斉モニタリング（扇川）

調査日：平成23年8月7日（日）



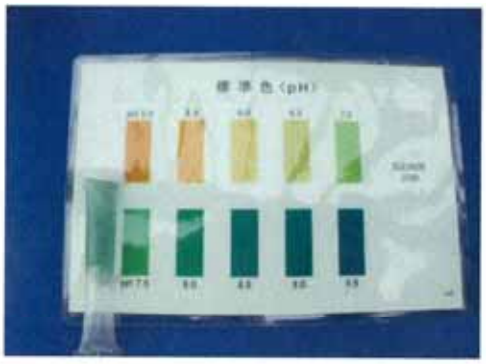
COD（低濃度）：8.0mg/L以上

昨年は7.0mg/L、普段は3.0～4.0。
何らかの汚れが混入しているのかな？
夏場ということも関係していると思われる。



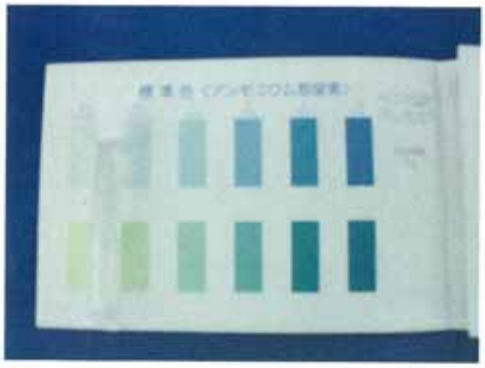
COD（高濃度）：　8.0mg/L・・1回目
　　：10.0mg/L・・2回目

平均値で9.0mg/Lでした。



pH：7.2

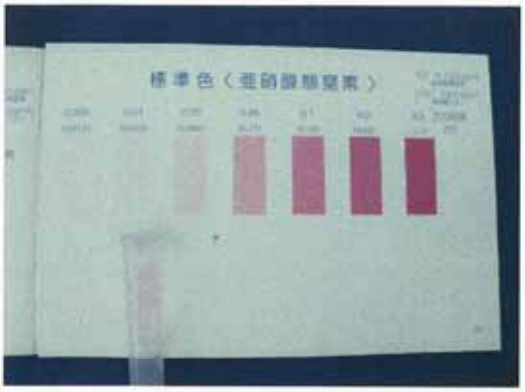
昨年は7.3で、普段とも変わらない。
中性（6.0～8.0）



NH4：0.2mg/L

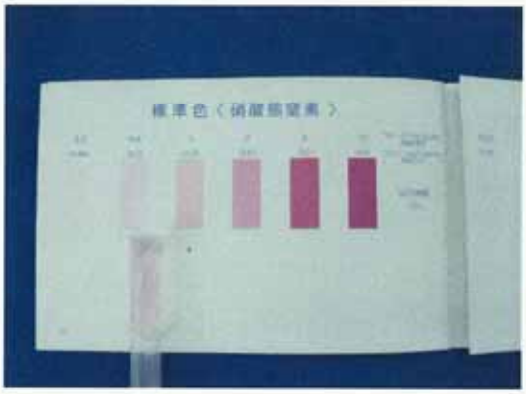
昨年も、0.2mg/Lでした。
雨水程度（0.1～0.4mg/L）

【団体名：扇川を愛する緑の会（2/3)】



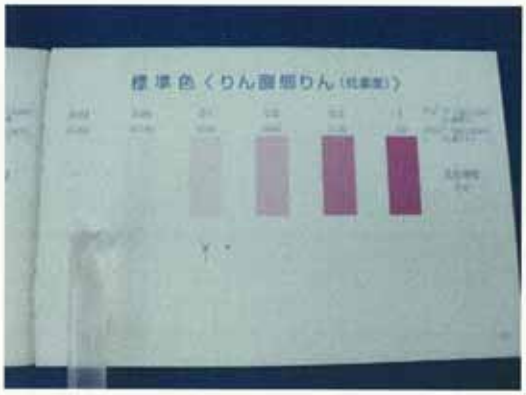
NO2：0.015mg/L

昨年は、0.03mg/Lでした。
河川上流程度（～0.03mg/L）



NO3：0.7mg/L

昨年は、1.0mg/Lでした。
河川上流程度（0.2～1.0mg/L）



PO4：0.05mg/L

昨年は、0.15mg/Lでした。
河川上流程度（～0.05mg/L）

【団体名：扇川を愛する緑の会（3/3)】

採水地点：上汐田橋

採水地点から上流をながめてます。
干潮時間の１時間前ですが、小潮で潮の引きが小さい。
潮の引きが大きいと両岸の砕石敷きが現れる。

採水地点：上汐田橋

採水地点から下流をながめてます。
ビニル袋が流れています。

採水地点：上汐田橋

ビニル袋、空き缶が流れています。
潮の満ち引き時に良くみられる薄茶色の泡が両岸に浮いています。
この泡の正体は何んでしょうね～
いつも気になっていますが、そのままです。

【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム（1/2)】

～ゴミの観測～

観測地点	観 測 内 容
中川口閘門付近	ヨシが多く浮遊（庄内川等の河川から） ゴミが少々
東海橋北側	岸側にゴミ少々
松重閘門付近	多くのゴミが浮遊
笹島船だまり	非常に多いゴミ
全体的	多くのゴミが浮遊（街から雨水と共に流入） 鳥類は、アオサギ、鵜。魚類は、ボラがいました。 採水ビンに顔を近づけるとにおい、濁っていました。

【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム（2/2)】

【団体名：やなぎも会】

写真.1　調査地点　寝川(小塩橋=こしおはし)上流側の側道で測定
調査時時刻　9:30～10時ころ干潮時で水流はほとんどなし.

写真.2　小塩橋の上流側(幅下橋方向を望む)

写真.4　小塩橋の右岸川の川際・干潮時の川底の石組が現われる.　ゴミはペットボトル1本、ほか枯葉が浮遊状態○印

写真.3　小塩橋の下流側(景雲橋方向を望む)

写真.5　小塩橋上のモニタリングの様子・比色実施状況
写真.5.1　CODおよびアンモニウム態窒素の測定

写真.5.3　硝酸態窒素の測定

写真.5.2　亜硝酸態窒素の測定

写真.5.4　りん酸態りんの測定

【団体名：みどりのまちづくりグループ（1/4)】

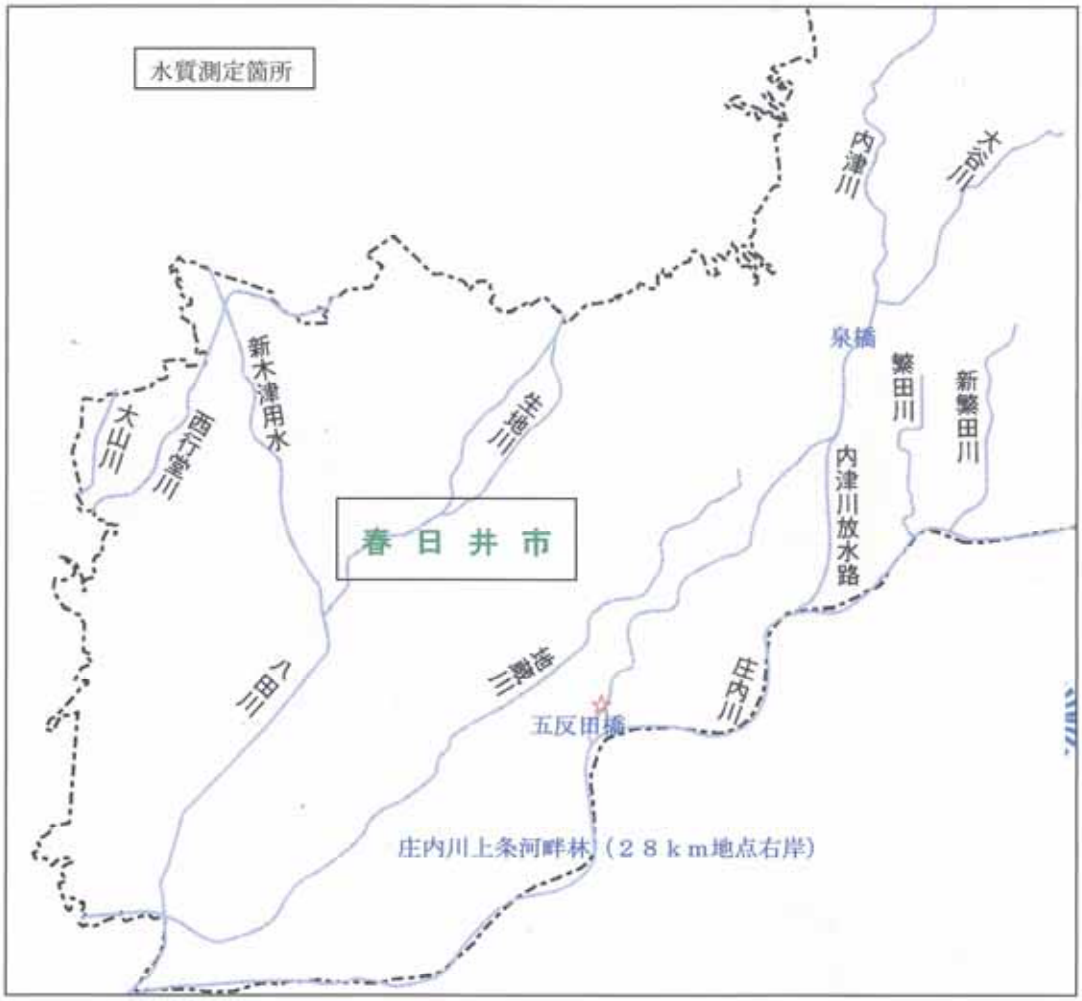
庄内川上条河畔林（２８ｋｍ地点右岸）

庄内川右岸から上流を見る

伊勢湾流域一斉モニタリングＰＲ

【団体名：みどりのまちづくりグループ（2/4)】

内津川終点（五反田橋上流）



五反田橋の下から内津川上流を見る

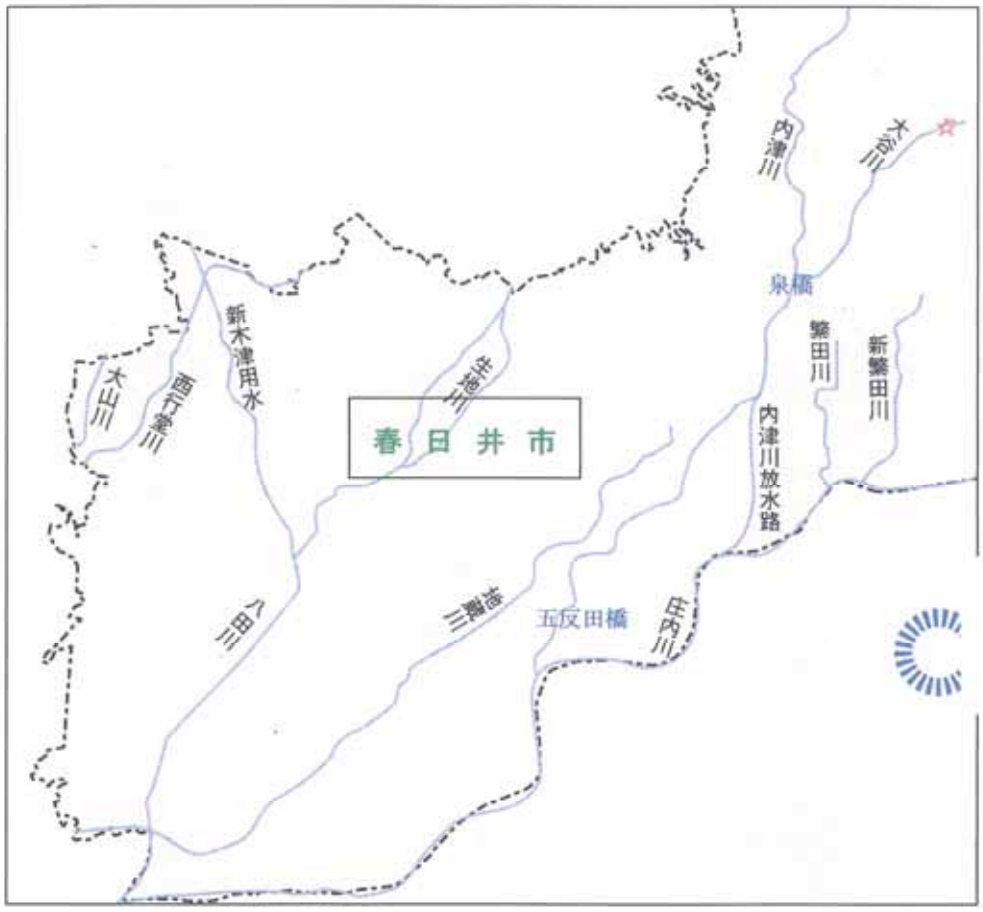
採水

亜硝酸窒素分析中

取材

【団体名：みどりのまちづくりグループ（3/4)】

大谷川源流



VIEO NETが取材同行しました。

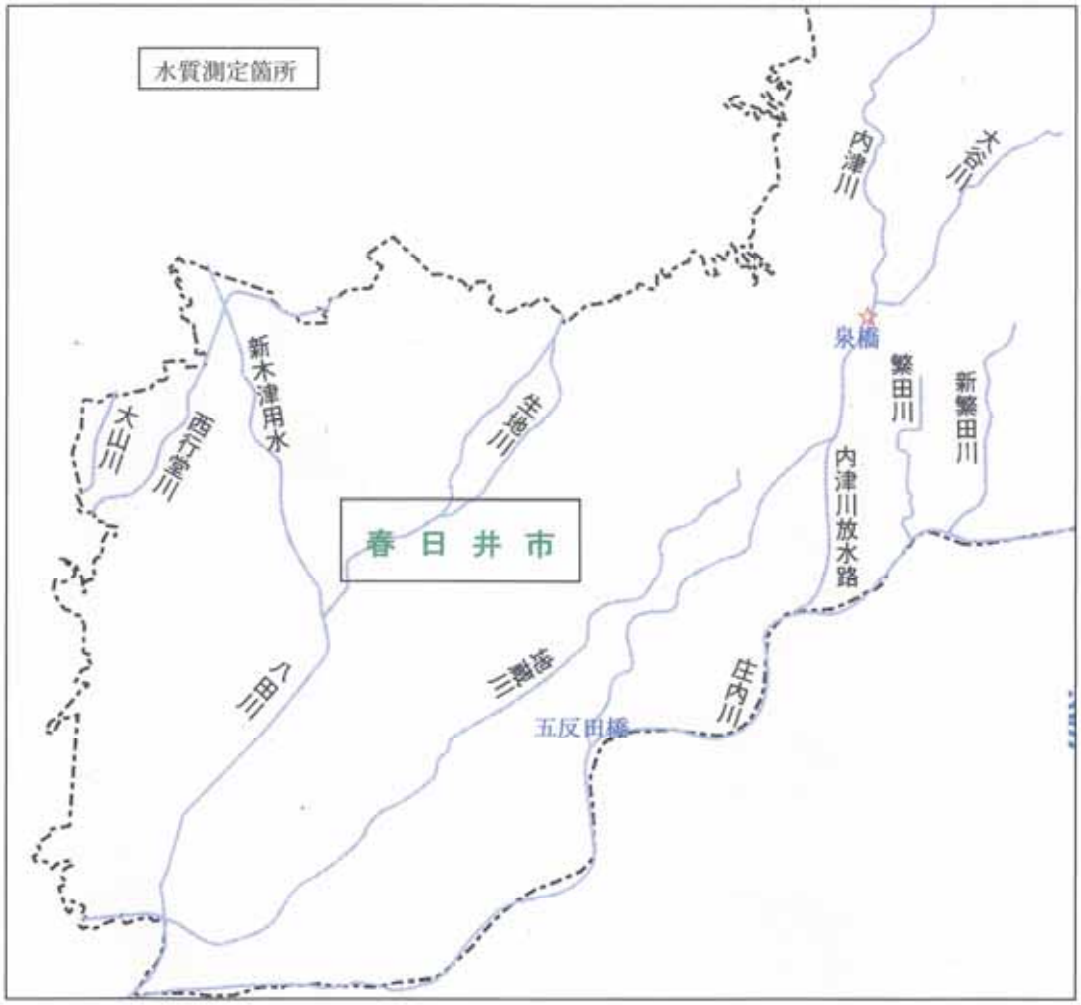
コンクリート壁から赤い水。

先回と同じだよ。

緋鯉が泳いでいました。

【団体名：みどりのまちづくりグループ（4/4)】

内津川合流点



【団体名：大垣市生活学校（1/2)】

水門川調査時風景　　7月27日（水)、7月30日（土)

7月27日　　午後3時頃水門川の貴船広場の所で目による恒例調査。30日の清掃を前に。

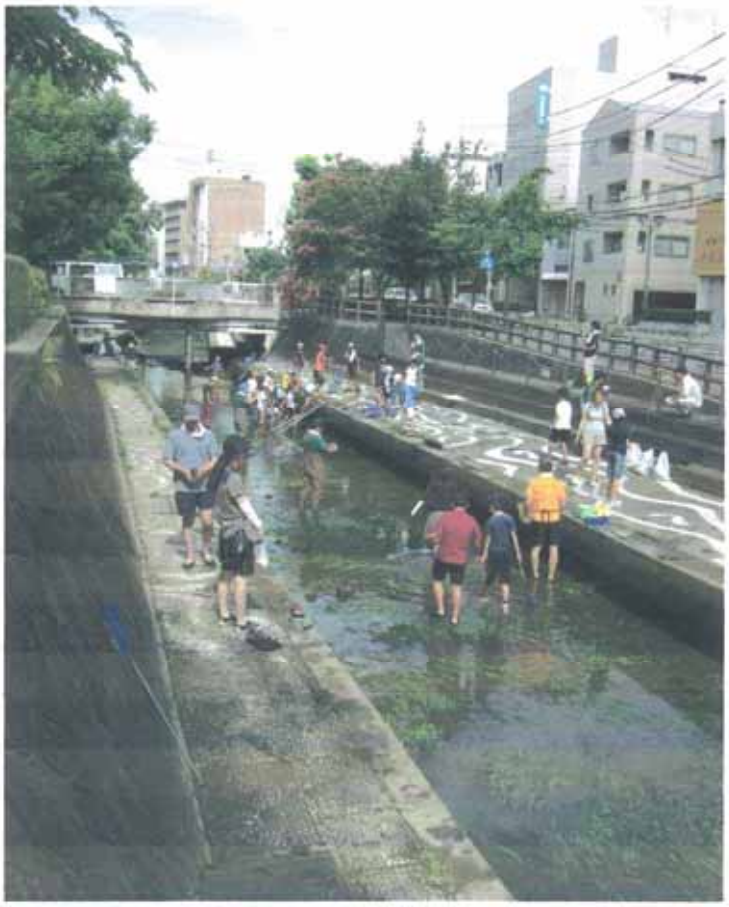
7月30日（土)
早朝より水を止めての清掃活動。

受付風景（生活学校提出）
市長さんも

【団体名：大垣市生活学校（2/2)】

川底学習

スズキ、センパラ、あめんぼうまだまだいろいろ



【団体名：小里川ダム里山教室（1/2)】

郡上橋上流側

郡上橋下流側

【団体名：小里川ダム里山教室（2/2)】

小里川郡上橋調査地点

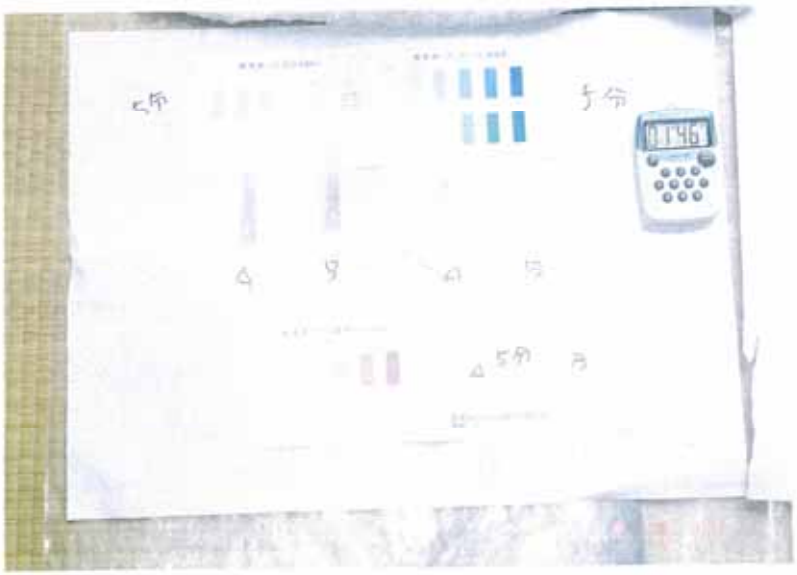
【団体名：八尺川を守る西洞子ども会】

【団体名：NPO 法人阿漕浦友の会（1/2)】

ゴミ袋、
枯葉主体
（6号台風による）

【団体名：NPO 法人阿漕浦友の会（2/2）】

あゆている
海岸と
鵜



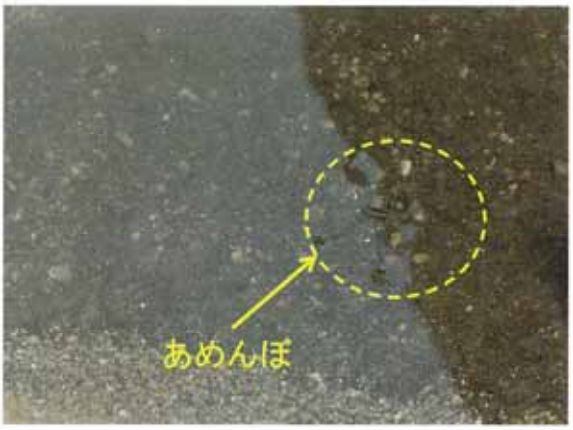
【団体名：四日市市環境学習センター・四郷地区市民センター（1/2)】

【団体名：四日市市環境学習センター・四郷地区市民センター（2/2)】

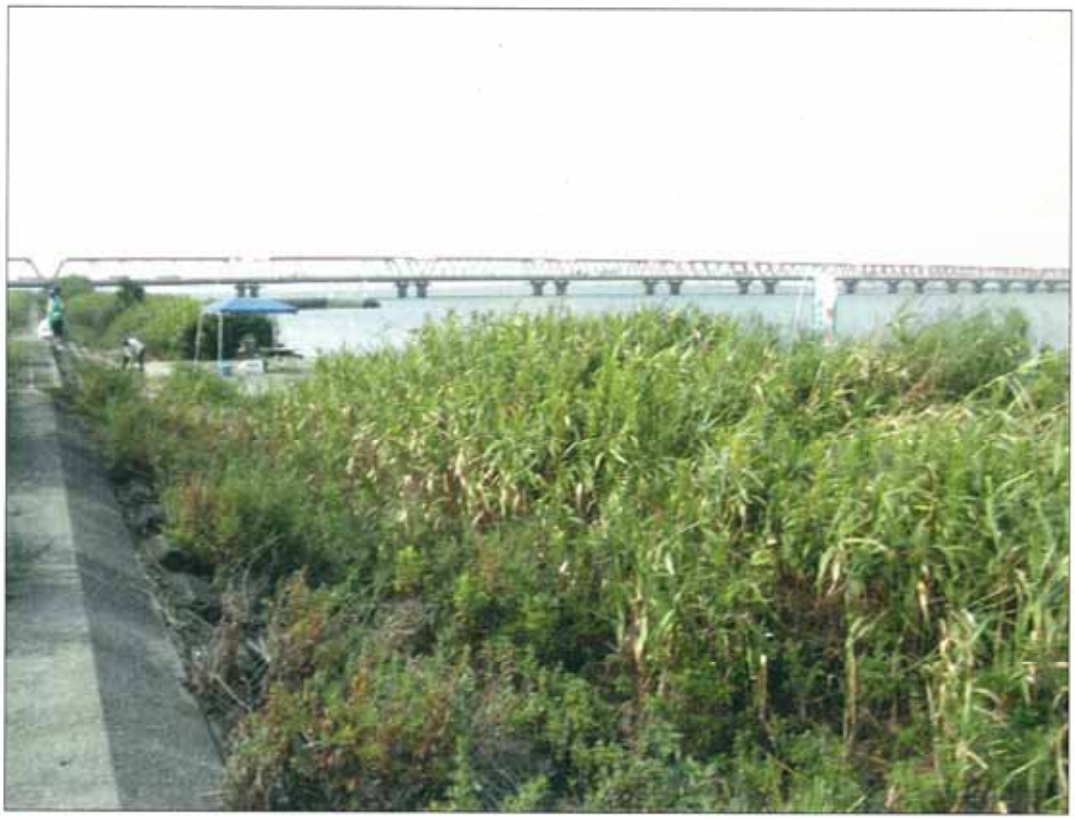
【団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会（1/3)】

【団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会（2/3)】

【団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会（3/3)】



【団体名：NPO 法人木曽三川ごみの会 桑名市立伊曽島小学校（1/2)】



モニタリング場所は国道23号線揖斐・長良大橋を下流に望む

【団体名：NPO 法人木曽三川ごみの会 桑名市立伊曽島小学校（2/2)】

漂着ごみの回収作業

ごみが回収されきれいになっていく川岸

水質調査の状況

真剣なまなざしで作業

水に親しみ川の環境を身近に感じるための櫓こぎ体験と，川から陸を見るミニクルーズ体験

3.3　水生生物調査結果

【団体名：山崎川グリーンマップ】

８月６日　１０：００～１２：００

夏休み山崎川生き物観察会を実施

参加者は３歳～中学生　保護者など一般参加２９名、山崎川グリーンマップメンバー子供小学３年生～高校２年生１０名、大人９名、鳥撮会２名、講師および講師手伝い８名　　総勢５８名

指導・・・日本カメ自然誌研究会、名古屋市水辺研究会

その他、国土交通省　伊勢湾流域圏一斉モニタリングに参加、水質調査を実施

曇天　　気温３０℃　　水温２７℃

水質調査実施責任者　　竹中理桜〔中２〕　浅井遥〔高２〕

左右田橋上流　透明度　６３㎝　COD８ｍｇ/l　NH4 0.5mg/l

親水公園　　透明度　４５㎝　COD８ｍｇ/l　NH4 0.2 mg/l

猫ヶ洞池からの導水が止まり、水の状態が非常に悪い。

親水公園での生き物調査

淡水魚		スミウキゴリ	２０	その他	
コイ	１０	ブルーギル	4	サカマキガイ	多数
ゴクラクハゼ	3	カダヤシ	２２	ヒル	３０
ドジョウ	1	甲殻類		アメンボ	5
マハゼ	３０	ヌマエビ	１２	コカゲロウ	4
メダカ	7	テナガエビ	8		
モツゴ稚魚	5	スジエビ	4	オイカワ群れ・・目視	複数
ウキゴリ	5	アメリカザリガニ	2	クサガメ	2

左右田橋上流では前日からカメ罠設置

スッポン大１、ミシシッピアカミミガメ２、クサガメ２、ミシシッピアカミミガメに関しては駆除を継続的におこなっているため、数が減っている。

4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

◆参加者名、団体名：ぐるーぷ「かすみ草」

◆主な観測地点：堀川

・ 堀川の水は、なかなかきれいになりませんね。堀川で快適な舟遊びが出来るようにしたいです。来年の参加を楽しみにしています。さすがに暑かったです。楽しかったです。

◆参加者名、団体名：松並木つくり隊

◆主な観測地点：庄内川

・ 調査地選定理由‥‥上･下流共に約 1km 程の所で名市内で大きい規模の下水処理場排水口があり、上げ汐・下げ汐どちらの流れでも処理水の通過点にあり、汚れの現状把握に向摘地点。

・ その他調査‥‥ビュッホー風力 2、風向南西、波の様子中波、潮時、小汐

・ クマゼミの声がやかましい程鳴いている。

・ 週始め頃の上流部での大雨によるにごりもきれいになくなってた。

・ 汗をかく機会が増え洗濯物が増加したせいだろうか。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：松並木つくり隊

◆主な観測地点：名古屋港

・ 調査地選定理由‥‥名古屋港内と庄内川・新川・日光川が合合流した大河口部の干潟先端部とを結ぶ小水路で差の現われ方が大きいと思われる。

・ その他調査‥‥ビュッホー風力 2、風向南西、波の様子小波、潮時、小汐

・ 橋の下が日影になり海風吹いて涼しいので年寄りのたまり場になっている。一応釣糸はたれているが釣れても釣れなくてもいい。又公共交通で来るのは一寸難しいので皆さん軽自車輌で来ているが交通事故に合わないように、また海へ転落しないように気をつけてほしい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：松並木つくり隊

◆主な観測地点：イカダ川

- 調査地選定理由‥‥典型的に都市近郊農地内を流下したイカダ川と静止海水面の貯木場が合流する地点で何か面白そう。
- その他調査‥‥ビュッホー風力 2、風向南西、波の様子小波、潮時
- 釣人早朝よりやっているが当たりがなく頭にカッカときてて、大型車の行き交う中を中央分離帯を乗り越えて移動している。
- ここの観測はいつも乍らやかましくてうるさい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：松並木つくり隊

◆主な観測地点：名古屋港（日光川・新川・庄内川合流点）

- 調査地選定理由‥‥名古屋市周辺の大河庄内川・新川・日光川が合流した大河口部干潟の下流端であり他の地点より何か特色のある結果が得られそう。
- その他調査‥‥ビュッホー風力 1、風向南南西、波の様子うねり波、潮時、小汐
- 車から降りたら海風にのった潮の香りがかすかに感じたが､採水を直接かいだら臭わない。水際が乾く時に発しているのだろう。
- 釣人子供 2 人大人 3 人やる気満々だがなかなか釣れない。それにしてもここは休日だと沢山釣人の来る所だが今日は淋しい。
- 港の方も貨物船の荷扱い少いような様子で静か。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：鯱城・堀川と生活を考える会

◆主な観測地点：堀川

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会

◆主な観測地点：庄内川

- 大潮でもあり、最大干潮 T.P-121 時刻 13:14 に向け川の流れは歩く程度の速さ。
- 前夜の岐阜県方面に降った雷雨の影響を受け川全体が白濁している。（普段は灰黄緑色）
- 豊かなヨシ原が広がり、7 月まではオオヨシキリが盛んに鳴いていた。
- 海側からの風で潮の香りが微かにする。
- 7 月 29 日に稲永野鳥館前で、多治見の親子さんたちと干潟観察会があった。
- 採れたゴカイを使って子供たちを中心に釣りをしたが 10cm 程のハゼが入れ食い状態であった。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会

◆主な観測地点：新川

- 庄内川と違って、新川は雷雨の影響がなく、水の色は普段と変わらぬ緑褐色となっている。河口付近（左岸）では、20～30 羽の鵜が追い込み漁をしている。
- 夕方になると、右岸堤防に多くの釣り人が訪れる。獲物はウナギで、アナジャコやアケミ貝が餌に使われている。
- 魚も人と鳥（鵜）に狙われ大変だと思う。
- 来年度も調査のご縁がありましたら記入用紙をメールにて送っていただけますと、ご返信がしやすいかと思います。（名古屋市環境局殿はメールでご返事しております）

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会

◆主な観測地点：上汐田橋

・ 昨年度末に上流で浚渫工事が行われていた関係なのか、水質が少し悪いと感じた。（透明度、水の色：橋から見た目・ビーカーの中）COD も良い時は、3.0 前後、透視度 100/100cm なので、今回の結果は残念だった。生き物は、直接確認することは出来なかったが、（小潮で潮のひきが少なく水深が普段よりあったのと、水の濁りが少々あったため。水深約 80cm）川底の砂を舞い上げるので、大型のコイが数匹確認出来たのと、採水地点で釣りをされていた方が 15 分ぐらいで体長 7～8cm のハゼを 5～6 匹釣り上げられてました。ハゼ、セイゴが良く釣れるとの事でした。本年も 6 月に川清除を行いました。少しでも、扇川がきれいになるよう、何らかの形で行動、アピールして行きたいと思います。

◆参加者名、団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム

◆主な観測地点：中川運河

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：東洋建設株式会社名古屋支店

◆主な観測地点：堀川

・ 堀川河口付近を調査しましたが、予想以上に水質汚染が進行している、あるいは改善されていないことに驚きました。近くには観光用の屋形船の乗船場があるので、イメージダウンとなっているのではないかと心配しました。何とか水質改善に向けて努力していただきたいと思いますし、できるだけ協力もして行きたいと思います。

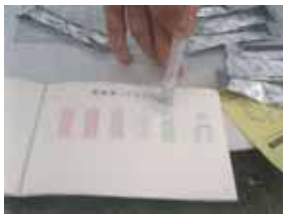
◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局
◆主な観測地点：土岐川
・　多くの箇所で調査することが出来ればいいと思う。
◆観測地点及び観測の様子

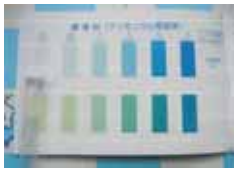
◆参加者名、団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局
◆主な観測地点：揖斐川
・　透視度も測定した。調査結果は 1m。それ以上も見えそうなくらい水は透き通っていた。

◆参加者名、団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局
◆主な観測地点：中川運河
・　前回は、名古屋市熱田地区の白鳥公園に隣接する堀川でモニタリング調査を行ったが、堀川以上に中川運河は濁っている。他の河川も同様ではないか。河川の浄化運動の難しさを感じる。

◆参加者名、団体名：NPO 法人グラウンドワーク東海
◆主な観測地点：新境川
・　対象の河川は水田地帯の排水を受けることから、もっと窒素やリン酸の値が大きいと思っていたが、意外に小さい値であった。
◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：NPO 法人グラウンドワーク東海
◆主な観測地点：可児川
・　今回の流量がやや多い状況の時に調査しましたが、流量の少ない時の調査も必要と感じました。
◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：やなぎも会
◆主な観測地点：堀川
1. 水質関係
・ COD は 8 以上で汚れていた。アンモニウム態窒素（NH_4^+）3.0、硝酸態窒素（NO_3^-）2.5～3.0（mg/L）と窒素系成分が同レベルで高い。
2. モニタリング地点の様子
・ 水の流れはよどんでいたが微風で臭いは感じなかった。名古屋港の干潮時刻 9:28 が干潮で水流の変化がなく、ほぼ一致していた。
・ 両岸の木の小枝が川内に迫り出し、干潮のため水が引いて枝先の葉は垂れ下り状である。
3. ゴミについて
・ 川面には枯葉が少し、よくみれば分る程度である。また、ただよっている状況である。
・ 橋の左岸側の土手には草が繁茂しているが、ゴミの痕跡は見られない。小塩橋上の全面にゴミの形跡はない。

◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会
◆主な観測地点：香流川
・ 年 2 回香流川の清掃に参加しているが、子供たちと一緒に香流川の現状を確認できるこういった機会はとても良いものだと思いました。
・ あまり関係ありませんが、鯉が他の生物を食べてしまうことで流域の生物が減少してしまっているので駆除していっても良いのではと思っています。
・ 雨の降った後の水質調査では水質も大変いい結果が出た。今回は通常の状態で調査した。結果で報告。
・ 香流川グリーン作戦を 5 月と 10 月に開催。参加者も地域・住民・子供会を含めて 250 名で堤防、河川敷を清掃。最近では下流域の香流学区上流域の長久手も参加して頂いております。5 年前と比べてもきれいになってきました。

◆参加者名、団体名：ゲンゴロウ会
◆主な観測地点：荒池
・ 今年は昨年以上に環境の変化が激しく、生物の存在が非常に薄いように思えました。
・ 昨年に比べ猛暑が 6 月末に始まり、気候の変動が激しかったのが原因かもしれません。
・ 今年は試薬が手に入らず、名古屋市の通常の検査試薬で報告しています。
・ 調査しています荒池も、この数年で環境の変化が激しく驚くばかりです。
・ 釣り人も最近は少なくなり、鳥類の激減もさびしい限りです。

◆参加者名、団体名：瑞穂鯱城クラブ（旧伏見 22）

◆主な観測地点：山崎川

・ 上・中・下流と調査して川の水質を知る必要がある。温暖化からか水質が少し悪化している。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：大井まちづくり協議会スナメリの海事業

◆主な観測地点：大井川、聖崎海岸、鳶ヶ崎海岸、海田川

・ スナメリを守る会としてはモニタリング調査は、子供達が海の環境に関心を持ち有意義でした。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：みどりのまちづくりグループ

◆主な観測地点：大谷川

・ 大谷川・内津川では上流から下流に行くに従って、NO_2・NO_3・PO_4 成分濃度が顕著に上がってゆくのが分る。これが庄内川に入ると大量の水で薄められるようだ。大谷川・内津川の一部は毎年クリーン作戦を 1 回、庄内川は庄内川アダプトで数回ゴミ拾いを行っています。

◆参加者名、団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

◆主な観測地点：名古屋港

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：明治用水土地改良区

◆主な観測地点：矢作川

・ 今回調査した内容だけではなく、流域の植物や動物についてももう少し詳しく調べてみたいと思った。また、違う場所（川の上流や海の近く）での調査や継続的に同じ調査もやってみたいと感じた。

◆参加者名、団体名：豊川流域圏を学ぶクループ

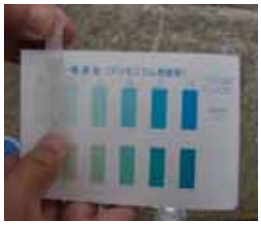
◆主な観測地点：豊川

・ 24 日、26 日の雨のせいかやや濁りがあり、水温が低めでした。

・ 今年は、河口部の生き物が少なく感じました。

・ 漂着ゴミは、数年前と比べると格段に少なくなっています。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：小野氏（個人）

◆主な観測地点：木曽川

・ 昨年度に比べて水の量が少し多い。

・ 公園なのできれいです。公園には管理者いて時間以外は入ることが出来ません。また、川には近寄らない看板が取り付けてあり、良い事と思います。

◆参加者名、団体名：小塩通信株式会社

◆主な観測地点：長良川

・ 川の水を採水する際に、バケツの紐が短かったので、浅瀬の水を汲むことしかできませんでした。次回は、紐の長いものを準備するようにしておきます。汲み方のコツなどを教えてもらえると助かります。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：ＮＰＯ法人長良川環境レンジャー協会

◆主な観測地点：長良川

・ 岐阜農林高等学校生 5 名が参加。岐阜市内小学生 5 名参加。

・ 高校生はこのような水質調査への参加が初めての子ばかりで、今後積極的な参加を求めたい。

・ 同じ川、同じ場所での調査を毎年同時期に行うことが、今後川を知る上で大変参考になると思う。

◆参加者名、団体名：ＮＰＯ法人長良川環境レンジャー協会

◆主な観測地点：揖斐川

・ 川海の自然を守るためには必要な調査だと思う。また、調査だけに留まらず、調査結果を活かしてほしい。

・ 本川の他に支流も次回は調査したいと思った。

◆参加者名、団体名：NPO 法人糸貫川をきれいにする会

◆主な観測地点：糸貫川

・ 北方町までは、川全体は綺麗で良好な状態です。

・ 最下流部は相変わらず浮遊物が多く水ワタも目立ちます。

・ ゴミは、最下流部を除いてほとんど目につかない状況です。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：フェザー安全剃刀株式会社関工場

◆主な観測地点：関川

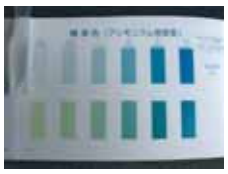
・ 昨年に引き続き、一斉モニタリングに参加させていただきました。

・ 調査当日の河川の状況ですが、川幅約 4m・水深 50cm 程、両岸共にコンクリートにて整備されており、特に渇水も増水も無く普段と同じ位の水量で、小さな魚が数匹群れをなして泳いでいました。また川面には落ち葉が多く漂っていました。

・ 調査に際しましては、付属の取扱説明書に従い慎重に実施致しました。どの項目も数値が比較的低く表れた事から、この地点を含め、この上流に関しても河川が清浄に保たれているということを確認出来ました。

・ 余談では有りますが、本日調査実施致しました地点にて、今年は非常にたくさんのホタルを観察することが出来きました。これも水質への意識の高まりが広まった結果ではないかと思います。今後さらに多様な生物が生息出来る健全な水環境を広める為、こういった取り組みに協力していきたいと思います。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：郡上市

◆主な観測地点：長良川

・　水が澄んでいてきれいだった。

・　鮎もたくさん生息している様子である。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：郡上市

◆主な観測地点：吉田川

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：大垣市生活学校

◆主な観測地点：水門川

・　7 月 30 日（土）水門川クリーン作戦実行委員会で水門川の貴船神社前から八幡神社前までほぼ 600m の間、水を堰き止め、堆積しているゴミ、土砂をすくい上げたりして清掃。上流部（貴船神社前）では、小学生の環境学習を行った。もう 10 年目になる。7～800 名参加。拾いあげるゴミが少なくなっている。でも完全にはなくならない。大垣市の観光のメインの位置にあるので、なんとかゴミの流れない川にしたいと思う。

・　「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」‥‥自分たちの所だけでなくつながっていることを意識できるので良いと思う。

◆参加者名、団体名：尾石氏（個人）

◆主な観測地点：加瀬田川

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：環境ネット　四つ葉会

◆主な観測地点：杭瀬川

- 河川に入り生物調査をするという事は初めてなので、子供の頃を思い出しながら楽しくできました。
- 講師の先生もわかりやすく話をして頂き、とても良い体験でした。
- もっと汚れているのでは‥と思っていましたが、生物調査でよくわかりました。

◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校

◆主な観測地点：可児川

- 昨年の「一斉モニタリング」調査結果を可児市で毎年行っている市民、事業者、行政による「環境フェスタ」というイベント（2011 年 2 月 27 日）で展示して、皆さんに見ていただきました。
- 川のつながり（森、川、海）や流域のことを考えてもらえるキッカケになればと思っており、今年の結果も展示したいと考えています。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：小里川（第一発電所ふるさと橋）

・ 結果：COD の値が 6mg/L と高く水が;きれいとは言えない。NH_4，NO_2，NO_3，PO_4 は低い値で水はきれい。　疑問 A：矛盾しているように思う？どう考えたらよいか？　私たちが考える可能性① COD は pH11.5 の影響によって正確な値となっていない。実は COD はもっと低く、有機物はあまり含まれていない。私たちが考える可能性② COD の値は正しく、有機物が多く含まれている。時間の経過が少なく、まだ分解されていないので、NH_4、NO_2,NO_3,PO_4 は低い値のままである。それでは、疑問 B：有機物はどこから流れてきたのか？　疑問 C： pH11.5 のアルカリ性はどこから、来たのか？　疑問 C に対する私たちの考える可能性①寒天製造②豆腐製造③窯業製造④家庭排水⑤ダムの管理者による水質調整→アオコ発生対策の必要性、これらのどれかが原因もしくは重複しているかもしれない。　疑問 A、B、C の疑問の解答を知りたいと思いました。＊それにしても pH の値が大きいので、始め pH 測定器が故障しているかと思いましたが、自宅の井戸水を測定したところ、pH7.0 であったので、おそらく故障していないと思う。確認のため、翌日（7/30）に再び同地点で測定したところ、調査日より値は低くなっていて、pH10.1 であった。どうも日によって変動するようだ。pH10.1　の水は伊勢湾までに中性にもどるだろうか？pH の値が伊勢湾までにどのように変化しているのか、追跡して見たくなりました。＊その前に正確な pH 計が必要ですが。

・ 次回は違う地点も調査したいと思っていますが、同じ地点の季節変動と経年変化の調査も大切であるように感じました。

・ 庄内川流域の全体の調査結果に興味をもちました。

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：小里川（ぐじょう橋）

・ 調査地点は山岡町内を流れてきて、小里川ダム上流の小里川の本流にある場所である。pH9.2 が COD の値に影響を与えなく、実際に 7mg/L であるとしたら、それ以外の調査成分の NH_4，NO_2，NO_3，PO_4 が低い値であることを考えるとこの値が低くなれば随分きれいな水になると思う。腑に落ちないのは、pHの値もどうして、このような高い値になっているのか、理解できない。

・ ゴミが少しあった。ゴミは捨てないようにしましょう。ダム湖畔に、流れついて、美観をそこねています。

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室
◆主な観測地点：小里川（小里川支流・猿爪川馬渡橋上流付近）
・ 調査をした地点は、猿爪川が私たち（工藤・山田）が住んでいる陶町内を通ってきて、生活廃水が集まってきているので、汚れている悪い結果がでると思っていましたが、検査項目の値から推測すると案外きれいなようだ。以前に較べ、各家庭の下水施設が良くなったことや陶町の人口が減少したことが考えられる。また窯業の生産が減少したことも水質が改善したことのひとつと推測される。（高度成長期は、白色の川は窯業が活発であるシンボルでした）　調べてみると、ヘビトンボは清流に生息するするそうだ。ヨシノボリは普通の水質の川に見られるようだ。ただ、汚れた川に生息すると言われるヒルも流れの底の石裏にいることを見ると生物指標では、この地点の水質判断に困る。

◆参加者名、団体名：八尺川を守る西洞子ども会
◆主な観測地点：八尺川
・ 川の草刈を今年は 6 月 3 日に実施（やや成長が遅れていた）。その後 6 月中真夏日が続きヨシ類の成長も昨年並みになり、上流の耕地（農業）より流出する窒素成分も吸収され良好。
・ 地域の大人達も子供のとりくみに気づかいして河川の美化活動にもそれぞれ協力。ゴミは見当たらない。環境も良好。
・ 参考資料を参加者に配布、喜ばれました。
・ 年 4～5 回調査し季節の変化も調べたい。

◆参加者名、団体名：NPO 法人阿漕浦友の会
◆主な観測地点：阿漕浦海岸
・ 台風 6 号の風雨により、枯葦を主体とした漂着物が海岸に打ち上げられていたが、7 月 30 日の花火打ち上げ（海上）の観覧場となるため、かたづけ集められてある。
・ ウミガメの産卵は阿漕浦では久しい。
・ 貝殻の打ち上げも少ない。（本年は当海岸では、久しく貝類が極少ない）

◆参加者名、団体名：四日市ウミガメ保存会
◆主な観測地点：吉崎海岸
・ 水質は天候にものすごく左右される。
・ 特に 8 月 7 日の 2 回目は水質がとてもよくて安心しました。

◆参加者名、団体名：四日市環境学習センター　四郷地区市民センター
◆主な観測地点：天白川
・ 同時に少し上流・下流の COD もしらべてみたが、明確な差は見られなかった。
・ 市などが実施している調査では、もっと BOD が低い。
・ 家のすぐ近くにある川が汚くて残念。
・ 意外と生きものがたくさんいる。

◆参加者名、団体名：四日市環境学習センター　内部地区市民センター

◆主な観測地点：内部川

・ 絶滅危惧種がとれた。
・ 顕微鏡を使って、生きものを見れたのがおもしろかった。
・ ゲンジボタルを取りたかったけど、とれなくて残念。でも、他の子がとってくれて、見れて良かった。
・ 夏休みの自由研究に使える。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：桑名市立光陵中学校

◆主な観測地点：大山田川

・ 今回参加させていただいて、川について意識が変わりました。川の中でどんなことがおきているのか、身近な川がどんな川なのか、そんな意識ができてよかったです。
・ ゴミを減らしてほしい。
・ 水の濃さが中間なのに無色が不思議でした。
・ 他の所は中間で色がついていると思っていましたが、無色もあるとはじめて知りました。
・ モニタリング調査はすごく楽しくて、何かと勉強になります。
・ これからも続けていきたいです。
・ 今回、参加させていただいてとても良かったです。
・ 最初は薬品を使うなどからぎこちなかったのですが、こういった経験はなかなか無いので、とても良かったです。
・ ゴミが少ないほか、数値も平均的だったり、少し普通より良かったりして、大山田川はきれいな方だと思った。
・ においや色も感じず無色できれいと感じた。
・ いつもよりすごく増水しておどろいた。

◆参加者名、団体名：桑名市立光陵中学校

◆主な観測地点：町屋川

・ 川面にゴミが見当たらないのに水際はゴミが少しあるのはおどろいた。
・ 生き物がいるとにおいがするのに、においがしないのにおどろいた。

◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会

◆主な観測地点：高松海岸

・ 海水温は高いと思った。
・ 打ち上がった漂着ゴミの多さにびっくりと、植物類の漂着も多く気になった。
・ 報告書の返信封筒を同封してほしい。
・ サンプル分の調査結果記入用紙を入れて下さい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会

◆主な観測地点：朝明川河口

・ 午前 9:00 の時点で、水温が高いと思った。
・ 稚魚の群れがよくみられた。（ボラ、ハゼ）

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：地球クラブ

◆主な観測地点：鈴鹿川

・ 水量が多く流れが速い状況だったため、下流域に近い場所でも水質・水温等、例年よりも状況が良いように思えた。
・ 水質が安定して良好なためか、魚・昆虫など生物がタモ網で容易にすくえる程捕獲できたので、環境が改善されつつあるようにも思えた。
・ 昨年の体験が生かされて、メンバー間の理解がそろったので測定作業などモニタリングの全体が、スムーズに進行できた。
・ 日常活動で協力し合う 2 つのグループが、合同作業の形で進められた結果、生き物調べも含めて予定したとおりの進行ができた。
・ 測定値の中では、COD 値だけが飛び抜けて高かった点が気になった。何か特別な原因があったのか疑問が残る。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社　鈴鹿事業所
自然愛好会
◆主な観測地点：三滝川
・ 今年、初めて参加しました。これまで、なかなか川の水質に関心がありませんでしたが、今回をきっかけに、自宅での排水について気に留めるようになりました。
・ 昨年より、きれいな感じがしました。近くで子供たちが、魚を取っていました。

◆参加者名、団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社　鈴鹿事業所
自然愛好会
◆主な観測地点：鈴鹿川
・ 昨年より、水の量が多く水中生物がたくさん見られた。
・ 近年周辺には新しい道路が作られたりしているが、水質環境は昔とあまり変わっていないのだと安心した。
・ 担当地点に到達するのに手間取ってしまった為、時間に余裕が無かった。
・ 次回は、もう少し自前にしっかりと調べておきたい。
・ 調査地点の 50m 程下流にいた釣り人に話を聞くことが出来ました。以下は、釣り人からのお話です。「まだまだ、この辺りには魚はたくさんいます。今日は、もろこを毛ばりで釣りに来ました。鈴鹿川は昔から伏流水豊富にありました。シャープが亀山に来てから、伏流水が減ってきており、この辺りの水田では水が不足してきており、農業委員さんが農業用水取水用のポンプの交換や増強を検討しています。」
・ 小鳥や虫の声に癒されました。
・ 子供が乳児の時に使っていたお風呂の温度計を、20 年ぶりに使用しました。捨てずに保管しておいてラッキーでした。
・ 次回は家族を誘い、感想がたくさん書ける活動としたい。

◆参加者名、団体名：富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社　鈴鹿事業所
自然愛好会
◆主な観測地点：安楽川
・ 橋の下で人目につかないことで、粗大ゴミを捨てる場所になっている。ラジカセ、冷蔵庫など、大雨が降り水位が上がると海まで流れてしまい環境汚染につながる。

◆参加者名、団体名：雲出川フロンテー
◆主な観測地点：雲出川
・ もっと一般、学生への PR も高めてもらいたい。（自然環境への重要性や災害等で再認識のために。）

◆参加者名、団体名：NPO 法人　神社みなとまち再生グループ
◆主な観測地点：勢田川
・ 毎年、同地点の月別モニタリングを実施してきたが、本年の結果は前年と同一の値である。

◆参加者名、団体名：横浜ゴム株式会社　三重工場

◆主な観測地点：桧尻川

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：亀山の自然環境を愛する会

◆主な観測地点：鈴鹿川

- 26km 地点とこの 12km 地点の水質はほとんど変わらない。途中での浄化作用があると考えて良いだろうか。
- 26km 地点では見られないウキゴリが、かなり見られる。26km 地点では見られるカワムツは、ここではほとんどいない。
- ギギの稚魚が多くなった。安楽川からの下りか？
- 種の量が上流に比べ非常に少ない。
- 水質プラス生き物調査も併行して行う必要ありと思う。
- 増水（蒙明など）は水量減少時の雑藻除去には鈴鹿川では望ましい。
- 26km 地点は魚の種類も多く、水質は良いと思っていたが、COD が高いのではないか。せめて 5 以下であってほしい。原因は水田か、会社か。
- 鈴鹿市の 2 ヶ所の堰堤によりアユは居るのに上れないのはつらい。
- 水質だけでなく生き物変化、構造の変化も加えていくのが重要ではないか。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：多気町立勢和中学校

◆主な観測地点：櫛田川

- 生徒と一緒に水質調査をして、あらためて勢和地区の自然のすばらしさを感じました。水質検査に参加した生徒も、地元の身近な川について関心を持ったようでした。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：NPO 法人　木曽三川ごみの会　桑名市立伊曽島小学校

◆主な観測地点：揖斐川、長良川

・　今回のモニタリングも昨年同様、小学生の環境学習の一環となればとのことで、会員代表者が学校等に働きかけたところ、学校関係者も夏休み中にもかかわらず前向きに検討し今年の合同調査が設定されました。さらに桑名市役所環境政策課、同市長島出張所、国土交通省木曽三川下流事務所に協力していただき環境啓発資料、児童に対する事故防止安全用具等の準備（ライフジャケット、手袋等）等々積極的に支援をして下さいました。児童も伊勢湾を含め流域河川の人たちが環境問題に取り組んでいることを知り環境に対する意識を強くしたように感じた。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：三井共同建設コンサルタント株式会社

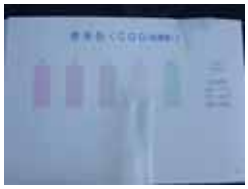
◆主な観測地点：朝明川河口

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：中部地方整備局　港湾空港部海洋環境・技術課

◆主な観測地点：名古屋港

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：伊良湖港

・　今後も継続して、水質調査を実施していきたい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：衣浦港

・ 本調査において特筆すべき汚染は認められなかったが、『伊勢湾再生』を目標とし、長期スパンで取り組む本モニタリングの重要性を感じた。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：三河港

・ 三河港豊橋地区の海水を採水し、調査した結果、COD、亜硝酸態窒素及び硝酸態窒素の濃度が比較的高く、逆にアンモニウム態窒素及びリン酸態リンの濃度は低かった。

・ 同結果から考察すると採水場所付近及びその周辺の海水は、見た目とおり汚れていることが実証された。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：四日市港

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：常滑港

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：鳥羽港

・　今後も継続して、水質調査を実施していきたい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部

◆主な観測地点：名古屋港

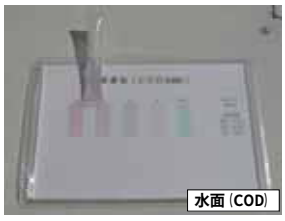
・　予想していたより数値的にも感覚的にもきれいであり、鰯などの生物も多数生息していた。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：中部地方整備局　三河港湾事務所

◆主な観測地点：三河港防波堤（北）沖

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：中部地方整備局　三河港湾事務所

◆主な観測地点：三河港

◆観測地点及び観測の様子